

TS-M2M-0008v1.3.2

oneM2M 技術仕様書 –サービス層 API 仕様(CoAP 用)–
oneM2M Technical Specification – CoAP Protocol Binding–

サマリ :

本仕様書は oneM2M 準拠システムで用いられる通信プロトコルで CoAP(Constrained Application Protocol)に関するプロトコルを記述している。

目次 :

1 章 所掌範囲 (目的)

本仕様書は oneM2M 準拠システムで用いられる通信プロトコルで CoAP に関するプロトコルを記述している。

本仕様書の範囲は以下を含んでいる

- oneM2M プリミティブと CoAP メッセージとの対応
- oneM2M レスポンスステータスコードと CoAP レスポンスコードとの対応
- oneM2M のパラメタに対応した CoAP のクライアントとサーバの動作の定義

2 章 引用文献

3 章 定義、略語と頭字語

4 章 表記法

5 章 全体概要

本章では以下の事項について CoAP でサポートされている機能、メッセージフォーマットなどを記述している。

6 章 CoAP メッセージマッピング

本章では CoAP のメッセージの以下の事項について記述している。

- トークンとオプションの運用
- ペイロード
- oneM2M のレスポンスステータスコードと CoAP のステータスコード
- CoAP を使ったリソースへのアクセス
- キャッシュの運用

7 章 セキュリティに関する事項

本章ではセキュリティ面から配慮すべき事項について記述している。

付則 A (情報) 手続きの例

本付則は AE(Application Entity)の登録手続きを例として記述している。

Summary:

The present document will cover the protocol specific part of communication protocol used by

oneM2M compliant systems as 'RESTful CoAP binding'.

The scope of this specification is (not limited to as shown below):

- Binding oneM2M primitives to CoAP messages
- Binding oneM2M Response Status Codes to CoAP Response Codes
- Defining behaviour of a CoAP Client and Server depending on oneM2M parameters